

すべての人に贈る聖夜の調べ

クリスマス／アヴェ・マリア

サンクトペテルブルグ室内合奏団

Ave Maria in Christmas



ロシア文化フェスティバル
RUSSIAN CULTURAL FESTIVAL IN JAPAN 2015

◆ 予定曲目 ◆

J.S.バッハ(グノー編曲)、シューベルト、カッチーニ

三大アヴェ・マリア

チャイコフスキー エレジー (弦楽セレナーデ 第3楽章)

モーツァルト 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より

ヴィヴァルディ 「四季」より “冬”

バッハ カン

マスネ タイスの瞑想曲

マスカーニ “間奏曲”

J.S.バッハ G線上のアリア 他

豊かな弦のハーモニーと流麗なハープの響き、
そして透き通ったソプラノの歌声が、
極上の音色となって聖夜を彩る。
バロックの傑作をはじめとした珠玉の名曲の数々。
至福の時間を、心をこめてお届けします。



マリヤ・ドレグボヴィッチ
(ソプラノ)



ナタリア・マカロワ
(ソプラノ)



ST.PETERSBURG CHAMBER ENSEMBLE DIVERTISSEMENT

※曲目、出演リストは変更される場合がございますが、予めご了承ください。
※ソプラノ歌手は来日する2名のうち、公演ごとにいずれか1名が出演する予定です。



2015

12/11

金

開場 18:00
開演 18:30

愛荘町立ハーティーセンター 秦荘

大ホール

●主催/愛荘町、愛荘町教育委員会、滋賀県、(一財)自治総合センター ●後援/(一社)愛荘町文化協会

全席指定 一般 2,000円
(税込) 高校生以下 1,000円

前売開始
10月10日(土)

入場券
前売所

ハーティーセンター 秦荘/愛知川公民館
愛知川駅コミュニティハウス・るーぶる愛知川
ひこね市文化プラザチケットセンター

日野町民会館わたむきホール虹
しがぎん経済文化センター
彦根地域勤労者互助会

●宝くじの助成により、特別料金となっております。
●未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。

問い合わせ先 愛荘町立ハーティーセンター 秦荘 ☎0749(37)4110



心に深く刻まれる美しい弦の旋律と、清らかなソプラノの歌声。 芸術都市サンクトペテルブルグの最優秀メンバーが奏でる、極上の音色。

表情豊かな安定した弦の音色と麗しきソプラノの歌声、音楽そのものの温かさを改めて感じさせ、心の底から安らぎを与えてくれるメロディーの数々。ロシアだけでなく、世界各地で活躍する優秀な奏者を集めたサンクトペテルブルグ室内合奏団が、今年もクリスマスシーズンに相応しい名曲を届けに、来日コンサートを行う。

この合奏団が初めて日本にやってきたのは、2000年のクリスマス。美しい旋律を一度聴いて、このステージを体験しなければクリスマスを迎えられないという多くのファンの期待に毎年応え続け、今年で16年連続となる来日コンサート。コンサートマスターのリーダーシップやパフォーマンスも見どころの一つで、すでに

日本のクリスマスシーズンには欠かせない存在になったといえる。

基本編成は弦楽合奏(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)。曲目によってはそれにソプラノや幻想的なハープの音色が加わり、J.S.バッハ、シューベルト、カッチーニの偉大なる3人の作曲家による「アヴェ・マリア」では、美しく透きとおるソプラノの歌声が響き渡る。この曲を聴くと、聖母マリアがより一層の輝きを増し、いかに多くの音楽家を魅了してきたかがわかる。

もちろん、今年もその音色に磨きをかけていることは間違いなく、これを聴けば自然とクリスマス気分が盛り上がる。厳かな響きが、忘れられないクリスマスの思い出になるだろう。

サンクトペテルブルグ室内合奏団

ST.PETERSBURG CHAMBER ENSEMBLE DIVERTISSEMENT

芸術の都サンクトペテルブルグで結成された、室内合奏団。次代を担う才気あふれる若手演奏家が中心であり、その活動は多岐に渡っている。

メンバーはクラシック、ジャズなど多彩なジャンルをレパートリーに持ち、他の楽団や歌手と様々な共演を行っている。同合奏団も古典音楽を中心に、映画音楽など幅広い音楽を演奏し、評論家からも好評を得ている。



マリーナ・トレグボヴィッチ (ソプラノ)

Marina Tregubovich



ミハイロフスキー歌劇場ソリスト。リムスキー=コルサコフ記念サンクトペテルブルグ国立高等音楽院卒業。主なレパートリーは、「レクイエム」のソリストのほか、ヴェルディ「リゴレット」のチェブラーノ伯爵夫人、「オテロ」のデズデモーナ、シュトラウスII「こうもり」のロザリンデ、ピゼー「カルメン」のメルセデス、プッチーニ「トスカ」のトスカなど。数多くのオペラ作品で主役を歌う。

ロシアでの活躍のほか、ドイツ、日本公演にも参加。オペラ作品のほか、宗教曲や交響曲などにもソリストとして出演するなどの活躍をしている。

ナタリア・マカロワ (ソプラノ)

Natalia Makarova



1986年、ミンスク生まれ。

1992年、中央音楽学校へ入学しピアノを学ぶ。卒業後、声楽専攻としてミンスクのグリーンカ音楽学校へ進学。在学中に数多くの国立声楽コンクールにて最優秀賞を受賞。

2007年、サンクトペテルブルク音楽院に進学し、タチアーナ・ノヴィコワ氏に師事。

2012年の修了公演においては、チャイコフスキー作曲「エフゲニー・オネーギン」より、タチアーナ役を演じ大好評を博した。

ご注意とお願い

- 会場内における飲食、喫煙はご遠慮下さい。
- 写真撮影、録画、録音等は禁止させていただきます。
- 未就学児童のご入場はお断りいたします。
- 開演後のご入場は制限させて頂く場合がございます。
- 都合により曲目が変更する場合がございます。ご了承下さい。